

KG JOURNAL

関西学院通信 [関学ジャーナル]

APRIL
2021 SPRING
No.271



関西学院大学

学びを止めない!
関西学院大学ニューノーマル

学長のポケット

学長・村田 治



三つのコンピテンシー

関西学院大学は、2019年に全ての学生が身に付ける10のKwanseiコンピテンシーを定めました。その中に、「困難を乗り越える粘り強さ」「対立する価値を調整する力」「主体的に行動する力」という三つのコンピテンシーがあります。

新型コロナウイルス感染症の拡大(コロナ危機)の中で、絶えず問われてきたのは、国民の生命と健康の確保か、経済活動の重視か、といった対立・矛盾する価値観の調整ではなかったでしょうか。さらに、マスクの着用、手指の消毒、不要不急の活動自粛など、粘り強い忍耐を伴う行動が求められてきました。正課外活動において体育会や文化総部などの公認団体は、感染症に対するガイドラインを自ら定めるなど主体的な活動をしてきました。これらの活動により、2021年3月6日時点で、本学においてクラスターは発生していません。皆さんが主体的に新型コロナウイルス感染症に対応することによって、上に挙げた三つのKwanseiコンピテンシーが自然と身に付いていたのです。

新学期が始まりますが、新型コロナウイルス感染症はまだまだ終息しそうにありません。昨年度から大学をはじめ関西学院ではさまざまな対策を取ってきました。特に、昨年の秋からは、学生同士での会食を極力避けるようお願いをしてきました。コロナ危機が終息するまで、「困難を乗り越える粘り強さ」を持って、命と健康か、経済活動か、という「対立する価値を調整する力」を意識しながら「主体的に行動する力」を発揮してほしいと思います。

- 1 学長のポケット
- 2 特集 世界市民を育む、学びがある。
学びを止めない!
関西学院大学ニューノーマル
- 11 ひとひと
井上 沙紀さん(総合政策学部3年生)
原田 瑞穂さん(人間福祉学部3年生)
- 13 Research & Research
建築学部 鬼丸 貞友 教授
- 15 Go Global!
額綱 響七さん(総合政策学部3年生)
My favorite KG
チェッパン ザックリー ティモシーさん
(米国)
- 17 Moment
- 19 TALK DEEP
~自然環境と私たちの暮らし~
- 25 KG CLUB
体育会 陸上競技部
- 27 学院通信
関学カプセル
KGグルメ
- 31 数字でみる関学
2019年度と2020年度春学期の
学生の学修行動と満足度
- 32 世界の街角から
英国 寺戸 佑希さん
- 33 Libraring
大学図書館を活用しよう!
- 34 聖書に聞く
院長 舟木 譲



学びを止めない!

関西学院大学ニューノーマル

新型コロナウイルス感染症の影響で私たちの生活は大きく変化し、ポストコロナ時代の新たな常態を表す「ニューノーマル」という言葉が社会に浸透しています。多くの困難を伴うニューノーマルな状況下で、関西学院大学も学生の学びを止めないための環境づくりに取り組んできました。大学の対応を振り返るとともに、目には見えないウイルスと向き合いながら、より良い学びを追求する教員や学生の今を紹介します。

関西学院大学のコロナ対応

一人の退学者も出さないために

新型コロナウイルス感染症に係る関西学院大学の動き

1月6日	▼中国・武漢で原因不明の肺炎患者を確認
1月15日	▼日本国内で初めて新型コロナウイルスの感染を確認
1月30日	▼WHOが「国際的な緊急事態」を宣言
1月31日	▼緊急対策本部を設置
2月14日	▼在学生に向けて「注意事項」を通知
3月4日	▼2019年度秋学期卒業式の中止を発表
3月5日	▼各種行事・活動等の開催中止、延期を決定
3月18日	▼OB・OGの著名人から卒業生へのメッセージを集めたサイト「#関学卒業生にエールを」を開設。近本光司さん(野球)、阪神タイガース)、多田修平さん(陸上、住友電工)、キユウソネカミ(アーティスト)、永島優美さん(アナウンサー、フジテレビ)などの動画メッセージを公開

B 「#ようこそ関学へ」を実施

コロナ禍で学生団体の情報が得にくい新入生と新入生募集に苦勞する学生団体の支援を目的に、大学公式Twitterでハッシュタグによるリツイート企画を実施。1団体1ツイートに限り、「#ようこそ関学へ」を付けたツイートを大学公式Twitterでリツイートすることで、多くの新入生に団体情報が行きわたるようにしました。

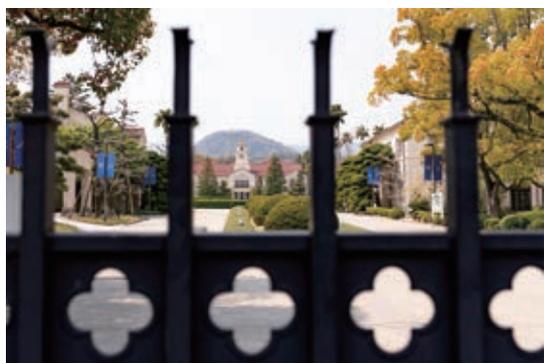
A 緊急対策本部を設置

村田学長の下、1月31日に立ち上がった緊急対策本部は、以降毎週の会議において留学中の学生への対応や授業方針、各種行事や部活動などに関するさまざまな事項について決定してきました。その後「感染症対策本部」となり、並行して実施していた学院全体や各学校に関する事項を決める「学院対策本部」と併せて度重なる議論を継続的に行い、園児、児童、生徒、学生の安全を第一に新型コロナウイルス感染症への対応や対策に関する決定をしてきました。

2020年1月30日にWHO(世界保健機関)が「国際的な緊急事態」を宣言した翌日、関西学院大学は村田治学長を中心に、緊急対策本部を学内に設置。スクリーンショット「Mastery for Service」の下、「学生を大切に」という精神にのっとり、「コロナ禍による一人の退学者も出さない」大方針を掲げて10億円の予算を確保、さまざまな支援策を講じてきました。1年余の格闘の歩みを振り返ります。



3月23日	▼4月20日までの全ての授業の休講を決定
4月3日	▼「Twitter上で各学生団体から新入生へのアピールツイートを募集し、それをリツイートする企画」#ようこそ関学へ」を実施
4月7日	▼政府が東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県に緊急事態宣言。4月16日には全国に拡大し、兵庫県など13都道府県は「特定警戒都道府県」に ▼教職員の一部の在宅勤務を決定
4月14日	▼西宮上ヶ原、西宮聖和、神戸三田、西宮北口、大阪梅田の各キャンパスを閉鎖、立ち入り禁止に（東京丸の内キャンパスは4月6日から閉室）
4月21日	▼オンライン授業を開始
5月1日	▼奨学金やオンライン授業受講などに関する学生への緊急支援を発表
5月2～6日	▼KGB総放送局が関西学院Zoom合同オンライン新歓を開催
5月7日	▼ノートパソコンとWiFiルーターの無償貸し出しを関西学院大学生協に委託して開始
5月21日	▼やむを得ない理由のある学生に限りPC教室の利用を予約制で許可
5月25日	▼約1カ月半ぶりに全国で緊急事態宣言を解除



C 各キャンパスを閉鎖

政府の緊急事態宣言の発令や兵庫県、大阪府からの外出自粛・休業の要請、また、学生・教職員の安全と健康、感染の拡大防止のため、4月14日からキャンパスを閉鎖して、学生・大学院生ならびに一般の人々の入構を禁止することを決定しました。当初は5月6日までの予定でしたが、月末まで延長。6月から部分的・段階的にキャンパスにおける教育・研究活動等を再開しました。

D Zoomで合同オンライン新歓を実施

KGB総放送局が、学内の課外活動団体や公認サークルの魅力を紹介しようと5月2日から6日までZoomでの合同オンライン新歓を開催。100団体以上が参加し、新入生に向けて活動内容やその魅力を伝えました。またアーカイブ動画を同部の公式YouTubeチャンネルでも公開し、当日参加できなかった新入生も閲覧できるようにしました。



H

G

F

E

1月7日	11月20日	10月24・25日 11月7・8日	9月23日	9月16日	9月14日	8月1日	7月31日	7月20日	6月30日	5月26日
▼東京、埼玉、千葉、神奈川の4都県に再び緊急事態宣言	▼2021年度の授業を、原則として対面で実施する基本方針を決定	▼新月祭2020を初のオンラインで開催	▼2020年度秋学期授業を開始、学生の姿がキャンパスに戻る	▼2020年度春学期大学卒業式・大学院学位記授与式を実施	▼新型コロナウイルス感染防止に関する関西4大学学長共同声明を発表	▼9月23日からの秋学期について、オンライン授業を原則として対面授業の実施を発表	▼CIEC(国際教育協力センター)が夏休み中の海外留学プログラムの中止を決定。オンラインプログラムを提供	▼西宮上ヶ原、西宮聖和、神戸三田の3キャンパスで学生の入構制限を解除	▼部分的にキャンパスにおける教育・研究活動、ガイドラインに沿った課外活動を再開	▼全国のコンビニエンスストアでネットプリントサービスの提供を開始

H

2021年度対面授業の実施を決定

2021年度の授業を原則対面で実施する基本方針を11月20日に決定しました。学生たちがキャンパスで学ぶ機会と学生同士のコミュニケーションの場をできる限り提供していくことが、大学の果たすべき責務と考えての決定です。来日できない留学生や基礎疾患などにより対面授業を受講できない学生には、所定の手続きによってオンラインで受講できるようにします。

G

新月祭をオンラインで開催

2020年度は、関西学院大学大学祭総部により課外活動再開のためのガイドラインに沿って初めてオンラインで開催されました。第一部は新入生に向けた学生団体の紹介やお笑い芸人の漫才、第二部は学生が歌や手品を披露するコンテストやロックバンドのライブなど、多彩なコンテンツが繰り広げられました。

E

ガイドラインにより課外活動を再開

6月からの部分的・段階的なキャンパスにおける教育・研究活動の再開に伴い、課外活動も学生生活支援機構が作成したガイドラインを遵守・徹底の上で、指定の学内体育施設を使用する場合に限り、活動の再開が認められました。しかし、段階的な再開方針については、活動内容ごとの検討と実施が必要となるため、その後、団体ごとに再開に向けたガイドラインの作成を依頼。学生生活支援機構に認められた団体は、ガイドラインに沿った活動ができるようになりました。

F

3キャンパスで入構制限を解除

ようやくキャンパスに学生たちの姿が戻ってきました。秋学期はゼミや実験など対面での授業が重要となる科目や、1年生がキャンパスに来る機会を得られるように1年生が受講する語学の授業は対面で実施。教室や研究室を十分に換気したり、座席を前後左右1席ずつ空けてソーシャルディスタンスを確保したりと、安心して通学し学べるよう感染防止対策を徹底しました。



【学生支援を多彩に展開】

キャリアセンターの就職支援

2018年度にAIによる「KGキャリアChatbot」を、2019年度には「KGキャリアチャンネル」やオンラインによる個人面談をスタートしていたことが奏功しました。カウンターでの直接対応が難しいコロナ禍で、いち早くスタッフに直接つながる電話相談も開始し、新型コロナウイルス感染症拡大後も、従来通り充実したきめ細やかなサポートを展開しています。



オンライン授業開始に伴う支援

▶ノートパソコンやWi-Fiルーターの無償貸し出し

経済的な事情などでオンライン授業の受講環境を準備できない学生を対象に、ノートパソコンとモバイルルーターを無償でレンタル。2020年10月現在、パソコン貸し出し数707台(750台購入)、モバイルルーター貸し出し数2,014台(2,200台購入)、支出額2億1,564円となっています。

▶ネットプリントサービス

自宅にプリンターがなく紙の出力などに困っている学生に専用IDを付与し、2020年5月26日から2021年3月末までコンビニエンスストアでのネットプリントの費用を負担。2020年10月現在、利用4,121件(4,500アカウント購入)、支出額1,304万円となっています。

CIEC(国際教育・協力センター)による支援

CIECは、夏休み中の海外留学プログラムの中止を決定。その上で海外の大学の教育に触れる機会を少しでも持ってもらうため、海外協定大学のオンライン



プログラムを紹介し、参加費用の一部を支援しました。また、留学中の学生に対しては期限を切り上げて強制帰国を指示。関西学院大学の授業は次学期からしか履修できないところを、特別措置として留学期間中の学期も受講できるようにしたため、留学中の大学の授業と併せてオンラインで受講する学生もいました。なお、現時点でも中止、募集停止が確定しているプログラムもあります。

関西学院大学の奨学金制度

全ての学生に一律に数万円を支給する大学もある中、関西学院大学では「本当に困っている学生を手厚く支援する」ことを決断。独自の奨学金制度を作り、「困窮を理由にした退学者を出さない」を合言葉にコロナ禍で困窮する学生の支援を行いました。

▶特別支給2020奨学金

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で保証人の収入が2割以上減少した学生に対して、40万円を上限に学費の2分の1を給付型で支給。2020年10月現在、557人に総額2億754万円を支給しています。

▶関学HECS型貸与奨学金

新型コロナウイルス感染症拡大の影響でアルバイト収入などが減少し、学生生活が困難な状況にある学生に対して、年間授業料相当額を限度に無利子で貸与。卒業後の年収が400万円を超えるまで返済が猶予されます。2020年10月現在、171人に総額1億653万円を貸し付けています。

J

I

3月17・18日	3月16日	2月28日	2月1・7日	1月13日	1月9・10日
▼2020年度秋学期大学卒業式を実施	▼2020年度秋学期大学院学位記授与式を実施	▼大阪、兵庫、京都など6府県の緊急事態宣言を解除	▼新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で、一般入学試験を実施	▼大阪、兵庫、京都、愛知、岐阜、福岡、栃木の7府県に緊急事態宣言。対象地域が11都府県に拡大	▼2021年復興・減災フォーラム「Withコロナと災害」を創る「ニューノーマル」を開催

I 「Withコロナと災害 〜どう創るニューノーマル」 を開催



「2021年 復興・減災フォーラム」として関西学院大学災害復興制度研究所が開催。コロナ禍で苦しんでいる被災者を見逃すことなく、新たに生まれたつながりを見つめながら今後の社会の在り方を考えました。 ※「学院通信」28号に関連記事を掲載しています。

J 2020年度秋学期大学卒業式を実施

従来は1H2部制で行っていた卒業式を、密を避けるために2H4部制で実施。会場への立ち入りは卒業生本人に限り、座席の前後左右にスペースを取ることでソーシャルディスタンスを確保するなど、感染拡大防止の対策を万全にして開催しました。約6,000人の卒業生を無事に送り出すことができました。また卒業式の日程に合わせて、OB・OGや教職員、地域住民などから学生たちの門出を祝福するエールと三日月の写真をSNS上で募集する企画「#今夜はKGmoon」を実施。校章の三日月をコンセプトに「これから先もずっと月の下で、関学生はつながっている」という思いを込めた企画に、計14カ国から457通のエールが寄せられました。



詳細はこちら▶ #今夜はKGmoon 特設サイト ※2021年5月上旬ごろまで閲覧可能。

学生状況調査〈抜粋〉

調査概要

▶調査対象
2020年度秋学期在籍者
25,137名(春学期在籍者数)

▶調査期間
2020年9月14日(月)から
2020年9月18日(金)まで

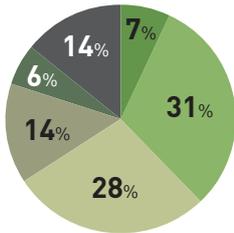
▶回収率
54%(有効回答13,682票)

コロナ禍における学生たちの思い

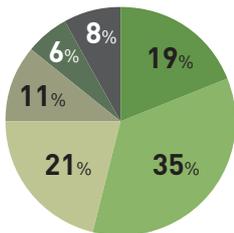
それまで当たり前に取り組んでいた学びや課外活動が制限された学生たち。コロナ禍における授業への本音をアンケート調査から紹介し、逆境に負けず積極的に動いた学生の声を届けます。

春学期 授業形態別の 満足度

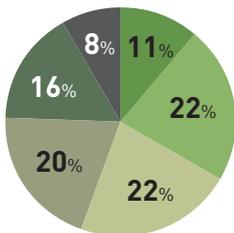
a)同時双方向型
(zoomなどを利用したライブ配信)



b)オンデマンド型(動的)
(録画した映像や音声を配信)



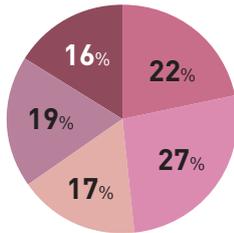
c)オンデマンド型(静的)
(スライドや課題の指示などの
文字情報を配信)



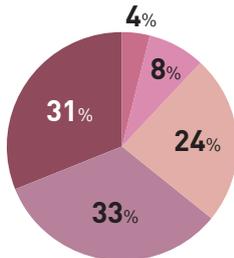
●...非常に満足
●...満足
●...どちらともいえない
●...満足でない
●...極めて満足でない
●...その形態の授業を履修していない

春学期 オンライン授業に対する 意識

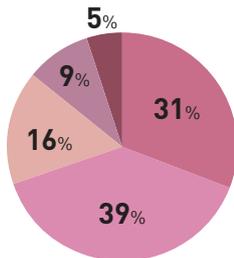
時間的負担が
小さい



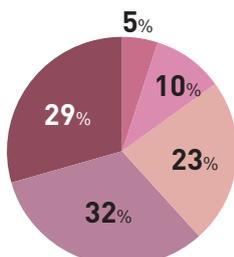
経済的負担が
小さい



授業に
集中しやすい



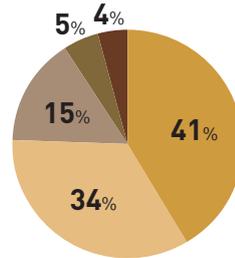
発言
しやすい



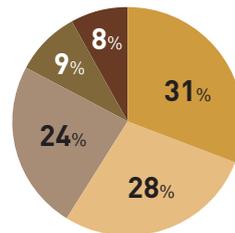
●...非常に満足
●...満足
●...どちらともいえない
●...満足でない
●...極めて満足でない
●...その形態の授業を履修していない

秋学期 対面授業に対する 意識

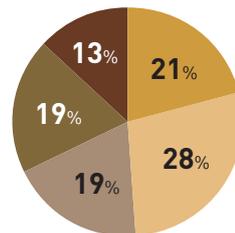
他の学生と会えることが
楽しみである



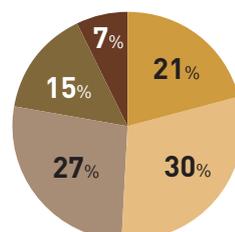
キャンパスでの課外活動が
楽しみである



通学に
不安がある



キャンパスの感染対策に
不安がある



●...非常に満足
●...満足
●...どちらともいえない
●...満足でない
●...極めて満足でない
●...その形態の授業を履修していない

「他の学生と会えることが楽しみである」「キャンパスでの課外活動が楽しみである」という回答が多い一方で、通学やキャンパスの感染防止対策を不安に思う声も多くあります。オンライン授業については、「時間的負担が小さい」「授業に集中しやすい」という回答が目立ちます。しかし、発言のしにくさや、必要な機器をそろえるためなどの経済的負担を感じているという結果になりました。

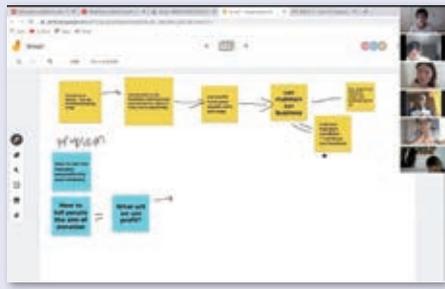


国際学部4年生
藤本 美紀さん

立ち止まっても意味がない 行動あるのみです

フ
インランドのパーサ大学に
留学中の2020年3月、
緊急帰国を余儀なくされまし
た。新型コロナウイルス感染症が
広がらなければ5月までフィン
ランドに予定だったので、最初
はシヨックでした。でも、特別措置で
本来受けられなかった関西学院
大学の春学期の授業を履修でき
ると聞き、がぜんやる気に。実は、
複数分野専攻制にも挑戦中なの
で、社会学部の授業も合わせて16
科目を履修しました。

また、6月の初めまではパーサ



8月に開催したKGIHのオンラインイベントの様子

大学の授業も引き続きオンライ
ンで受講していたので、一日中パソ
コンと向き合う日々でした。睡眠
時間が削られ正直大変でしたが、
2カ国の大学の授業を同時に受
けることで、フィンランドと日本の
社会の違いがよく分かりました。
フィンランドでは女性の社会進出
が当たり前で女性管理職の割合
も高いこと、日本ほど製品の完成
度が高くないことなど、興味深く
感じました。

この1年を経て、オンライン、オ
フラインにかかわらず、自分から
行動することが大事だと痛感し
ました。立ち止まっても意味
がない。行動あるのみです。これ
からも、いろいろなことに果敢に
挑戦したいです。



教育学部4年生
平見 佳久さん
(関西学院グリークラブ第122代部長)

コロナ禍を変革の好機と捉え グリークラブの「進化」を目指します

昨

年2月23日、恒例のリサ
イタルを終えた頃から、新
型コロナウイルス感染症への対応
を迫られるようになりました。3
月の演奏旅行は中止し、4月8日
には正式に無期限の活動休止を
決定しました。自粛期間はできる
ことをしようと、まずはグリーク
ラブの公式YouTubeチャンネル
を開設。新歓活動については各種
SNSを通じて行いました。合間
を縫って、Zoomでの部員間ミ
ティングも実施するなど、とにか
くみんなのモチベーションを維持す
ることに必死でした。

8月からはZoomを活用し
たパート練習を週2回の頻度で
スタート。ただ、オンラインではど
うしても音声にタイムラグが出る
ので、同時に歌うことはできませ
ん。歌声を出すのは一人だけにし
て、他のメンバーは消音。その人の
歌声を聞きながら各自歌う方式
にしました。他のメンバーの歌声
を聞くことも大事なので、耳を鍛
える意味ではZoom練習は効果
があったと思います。



感染防止対策を取りながら練習

対策を徹底しながら練習してい
ます。練習場に入る際は非接触
型体温計で検温し、靴に使い捨て
シューズカバーを着用後、30秒以
上の手洗いをしてから入室。人と
の距離は2メートル取り、歌う人の前
方には誰もいない状態にするため、
指揮者を中心に外向きの輪になっ
て歌います。1回の練習人数も12
人以下に限定(2021年2月
現在)し、もちろんマスク着用です。
今年の目標は「関西学院グリー
クラブの進化」です。厳しい状況で
はありますが、コロナ禍を変革の
好機と捉え、潜在的な問題の改善
や新たな演奏会の形の創出、他団
体との交流の強化などに取り組ん
でいきたいと思っています。

コロナに負けず知の探究を ゼミ・研究室のニューノーマル

3 大学合同の合宿や民間企業との共同研究

恒例行事をオンラインで実施

商学部

阪ゼミ

担当／阪智香教授

Zoomでやり取りをしながら 経営計画書と財務諸表を作成

3年生の秋学期のメインイベントとして、早稲田大学、横浜国立大学と合同で1泊2日のビジネスゲーム合宿を実施している阪ゼミ。大学を越えてチームを組み、企業経営シミュレーションにより利益額を競うというもので、この合宿が楽しみでゼミに入る学生も少なくありません。

しかし昨年は、毎回会場としていた早稲田大学のセミナーハウスが使用不可となり、中止の危機に。「企業経営や会計に対する理解が深まる上、他大学の学生と切磋琢磨できる大切な機会。中止だけは避けたかった」と阪教授。ひと月ほど検討を重ね、オンラインでの実施にこぎ着けました。

当日は阪ゼミの学生だけが大学に

集まり、関東の学生は自宅から

Zoomで参加しました。各チームは、XとY、二つの製品の製造業の経営者

として、経営計画書で資金調達、生産、雇用、販売、設備投資などの経営計画を提出。審判役の教授がはじき出した受注量を基に、財務諸表を作成し、当期純利益を計算します。第1期から第7期まで重ねて一番利益を出したチームが優勝です。「各自が強みを生かして意見を出し合い、一番いい経営計画を作るようにした。刺激的で楽しい時間でした」と話す福田有紗さん(4年生)のチームは惜しくも2位に。メンバーとは連絡先を交換し、今も交流が続いているそうです。

一企業のビジネスプランを作成し プレゼンテーション

一方、ネスレ日本株式会社と連携し

2020年6月から、キャンパス内での実習・実験などの研究活動が段階的に再開されました。現在も学内のゼミや研究室では、感染防止対策を講じながら、それぞれの方法で知の探究を進めています。活動を制限されながらも、オンラインで他大学や企業との共同プログラムを実施したゼミや、コロナ禍ならではの新たなテーマを見いだした研究室を紹介します。

教室を忠実に再現した360度CG動画の配信で

オンライン授業の学習効果を追求

工学部情報工学課程

山本研究室

担当／山本倫也教授

入構制限緩和と同時に 研究室での作業を再開

山本研究室はこれまで、対面コミュニケーションにおける身体の働きに着目し、身体性メディア技術の研究開発に取り組んできました。人間がコミュニケーションを取る際にどういう動きをしているのが重要になるため、研究には、実験に協力してくれる人が欠かせません。よって、入構が制限された期間中は実験がストップ。その間は、今までは研究室が集めたデータを全員で分析しました。しかし、この分析の結果は思わしいものではありませんでした。

「他人の研究データなので、その目的は何なのか、どういう装置でどのような状況で取られたのかが分かりにくい。研究の一部を切り取って分析しても意味がない」とことを再認識しまし

た」と山本教授は振り返ります。

そこで昨年6月に入構制限が緩和されると、シフトを組み、従来の半分の人数で研究を再開しました。学生が安心して作業に集中できるよう感染防止対策を徹底。常時窓を開けて換気を行うとともに、作業者は十分に距離を取って座り、間にパーティションを立てたり、パソコンのディスプレイを置くようにレイアウトを変えたりと、部屋のハード面を整えました。

対面授業の臨場感を味わえる VRコンテンツを作成

同時に、コロナ禍で苦しむ学生たちを少しでも元気づけたいと、新たな研究をスタートしました。同研究室ではこれまでにもCGキャラクターを活用したバーチャリアリティー(VR)の学習支援システムを構築しており、その

→「オンライン形式での実施は移動時間が省けるなどメリットもあります。オンラインとオフライン、それぞれのいい部分を合わせていければいいですね」と阪教授

↓関西学院大学の教室を主会場に実施した「3大学合同ビジネスゲーム合宿」の様子



→ビジネスプランコンテストの賞品を手笑顔のゼミ生。左から福田さん、定井さん、特別賞獲得チームの班長を務めた中村美結さん(4年生)



※1990年代後半から2000年代前半に生まれたデジタル機器に慣れ親しんだ世代。

たフィールドワークも恒例のプログラムです。例年であれば、学生がネスカフェアンバサダーとなり、オープンキャンパスなどのイベントでコーヒーを販売。売り方を工夫し、他大学と利益額を競っていました。コロナ禍の影響で、昨年度は、同社のビジネスプランを出し合うコンテストに内容が変わりました。

昨年10月から今年の2月にかけて行われたこのプログラムには、神戸大学、兵庫県立大学、神戸学院大学、親和女子大学も参加。阪ゼミからは3チームがエントリーし、週1回のゼミの時間を使って、「Z世代」*に向けたプランを作成しました。さらに、月に1回実施されたリモートセッションでは、同社の社員によるマーケティングや会計に関する講義も行われました。

3位を獲得したチームの班長を務めた定井雅紀さん(4年生)は、「主力商品である『キットカット』の食品ロスをなくすため、賞味期限が近いものを再利用するプランを提案。ネスレの社員の方と頻りに連絡を取り、その際に頂いたアドバイスをチームに伝えてブラッシュアップを図りました」と振り返ります。

「実務家からアドバイスを頂ける機会はめったにありませんから、本当にいい経験になったと思います。次回もできれば同じ内容で挑戦したい」と阪教授。コロナ禍もたらした新たな研究活動をさらに進化させていく構えです。

内容を踏まえ、大学のオンライン授業をもっと面白くするVRコンテンツの開発に乗り出したのです。「先生がしゃべっているだけの映像を見ても、なかなか集中できなかった。VRの動画なら、もっと興味を持って授業に参加できるのではと思いました」と話すのは、研究チームの一人、当時理工学研究科人間システム工学専攻M2年生だった広瀬隼人さんです。

作成したのは山本教授が担当する授業の1コマ分。無人の教室で授業をしている360度映像にCGで制作した学生キャラクターを合成し、コロナ前の教室の様子を再現。360度見渡せば、そこで授業を受けているような臨場感を味わえるVRによるオンデマンド動画を作り上げました。



↑2021年1月にはVRで講義を実施。現在はVRゴーグル(ヘッドセット)を着けた際の見え方、学習効果を評価



↑VRゴーグルを着けた際の見え方をチェックする広瀬さん(当時)。「VRコンテンツの土台をつくることができた。改良を続けてほしい」

↓「アンケートでは、授業中に関わりを持つ人として友人と答えた学生が多かった。友人をどう動画の中に組み込ませられるかが課題です」と山本教授



↑配信された360度動画(一部分)

制作動画は講義の一環として7月10日から配信し、希望者には簡易VRゴーグルを送付。視聴後の学生による課題で学習効果を評価しました。結果、効果は通常のオンライン授業と変わりませんでした。「楽しい」「興味が持てる」「教室で受講している気持ちになれる」「今後も使いたい」といった声が多数届きました。「今後はより高い学習効果が得られるように改良していきたい」と山本教授。研究室のテーマの一つとして引き続き取り組みます。

ば、そこで授業を受けているような臨場感を味わえるVRによるオンデマンド動画を作り上げました。

ペットボトルの消費量削減を目指し オリジナルマイボトルを共同開発

KSC(神戸三田キャンパス)で、時間や空間にとらわれない新たな学びの場を創造する「Camping Campus」。同取り組みを推進するKSCの学生有志のグループ「CAMPPXUS」の一員として、協力企業であるアウトドア総合メーカー Snow Peakと共同でオリジナルマイボトルを開発した。

「KSCが変わる瞬間に関わりたい」と同グループに参加。昨年2月にKSC内で2日間開催されたブレ・キャンプでは、学生や同社スタッフらが寝食を共にしながら「KSCから始まるSDGsの取り組み」等をテーマに議論を交わした。そこで、KSCだけで年間約27万本のペットボトルが消費されている現状が明らかになり、削減を目指すためのマイボトル共同開発プロジェクトが始動した。

新型コロナウイルス感染症の流行により、マイボトル開発のためのミーティングはオンラインで実施。ボトルの形状や色、デザインなどについて学部や学年を越えてアイデアを出し合った。その結果、卒業後も長く使えることをコンセプトに、KSCが自動車通学可能なことからホルダーに収まる形状とし、やわらかいSnow Peakと関

西学院大学のコラボ製品だと分かるよう各ロゴマークが際立つ配色とした。「どんなボトルが欲しいか」はもちろん、「どんなボトルならプロジェクトを知ってもらえるか」という点も重視しました。プロジェクトの認知度を高め、他大学にも『エコの輪』が広がることを期待しています」

マイボトルはKSCでのみ販売。構内に新設する「BIZCafe」に持ち込むとドリンクが無料で提供される仕組みを今春から開始し、KSC内のペットボトル消費量を年間約10万本削減することを目指す。



オンラインと対面を組み合わせたミーティングの様子

01 Saki Inoue
井上 沙紀さん
総合政策学部3年生





02

Mizuho Harada
原田 瑞穂さん
人間福祉学部3年生

企画制作したスケジュール帳で 誰もがSDGsを身近に感じる社会に

SDGsの各目標の解説や豆知識、目標達成のための具体的な行動などを掲載したスケジュール帳「今日からできるSDGsダイアリー」を学生有志で企画・制作。行動宣言を書き込む欄や自己評価表なども設けることで実践につなげ、日常生活の中にSDGsが定着することを目指す。

高校生の時にSDGsを知り、「誰一人取り残さない」という理念に共感。セミナーや、環境先進国スウェーデンへの視察ツアーを通じて実社会での取り組みを学ぶうちに、日本ではまだまだSDGsが根付いていないと感じた。「もっと身近に感じてもらう方法はないか」。関西SDGsプラットフォーム主催のアイデアコンテストに応募し、思いを形にしようと考えた。「子どもでも理解できて、簡単に取り組め、携帯できるもの。三つを条件に思い付いたのがスケジュール帳でした」。アイデアは惜しくも落選したが諦め切れず、企画を温めた。

翌年、定藤繁樹名誉教授に相談したところ「私の授業に企画を持ち込めばいい」との提案を受け、2年生の秋学期に聴講生として参加。学部や学年もさまざまなメンバーが集まり、本格的に制作を始めた。SDGsの

課題解決に取り組む個人や団体から助言をもらい、ブラッシュアップ。広報と資金集めを兼ねたクラウドファンディングでは期間中に有識者を招いたオンライン講演会を開催して共感者を増やし、最終的に当初の目標の5倍を越す支援が集まった。

「持っているだけでもSDGsに貢献できるようなものになりたい」と、素材や製法をより環境に優しいものに変更し、春からオンラインショップや関西学院大学の生協で数量限定販売。来年度は大手書店と手を組み、さらなる展開も視野に入れる。



7月のページでは目標5を紹介。老若男女が使えるシンプルなデザインや、読みやすい書体選びにもこだわった



地震に強い安全・安心な建物とは
どうあるべきか
数値解析をツールに探究する

地震大国、日本。この国で暮らす以上、地震を避けて通ることはできません。地盤をどう伝わり、基礎や建物にどう作用するのか。地震が建物に及ぼす影響に注目し、長く使い続けることができる安全・安心な建築構造について研究しています。

地震観測や実験などアプローチはいろいろありますが、コンピュータ上に建物をモデル化し、地震によってどのように揺れるかをシミュレーションする方法を取り組んでいます。こういう地震が来たらこの部分がどのように壊れそうだと予測し、さらに、どうすれば壊れにくくなるか、どのように設計しておけば大丈夫かを考えていきます。

実際の建物で地震の揺れを観測し、その動きを詳しく知るには、至る所に地震計を設置しなければならず、それでもさまざまな場所の揺れまでは分かりません。コンピュータを上手に利用することで、地震観測や実験では知ることができない部分を補おうとしています。

地震が起きた場合の被害には、地上の建物だけでなく、地盤や地中で支えている基礎部分も

大きく関係します。地震の波が地盤から伝わって建物を揺らすと、今度はその揺れが地盤を揺らし、互いに影響し合います。これを「建物と地盤の動的相互作用」と言い、考慮しないと建物への正確な影響は予測できません。よって、地盤についてもコンピュータ上でモデル化し、地盤や基礎を

関わってきます。基礎部分を含め、建物全体としてバランス良く、しなやかに、しごとく、地震に備えるためには、どのように建物を設計すべきか、どう規定すべきかを重要な研究テーマとしています。何百年に一度遭遇するような大地震に対して、建物は多少壊れてもいいのか、どの部分にどこ



含めた建物全体を考えていく必要があります。周辺にどこまでも広がる地盤を正確に再現することとは難しいのですが、最近ではコンピュータの性能も進化し、より詳しく再現できるようになってきました。

このように、建物の耐震化には地面より下の部分も大きく

までの損壊を許すのか議論を重ね、総合的に判断していくことが重要です。研究を積み重ねることで、その一助となればと考えています。

ハード面の研究と並行して、地震をはじめとする自然災害に備えるためのソフト面についても、学生と一緒に考えています。現状に

改善の余地はないか、学生たちには既成のイメージを取り払ってもいい、例えば、「避難所をもう少しおしゃれな空間にできないか」「備蓄する食品は地産地消を考えてあえて地元産を使い、短期間で入れ替えてはどうか」など、ユニークなアイデアを出してもらっています。コストなど現実の制約は多いですが、自由な発想から、何か少しでも改善につながる提案ができればと期待しています。

4月に新設された建築学部では、耐震など建築の技術面の分野を主に担当します。建築はデザインから先端技術、自然環境まで多様な要素を含んだ非常にフィールドの広い分野です。地震や災害以外にも、身の回りの全てが建築に関わるので、人の暮らしやそれを取り巻く全てに目を向ける必要があります。そのため、学生の皆さんにはできるだけ幅広い分野に関心を持ってもらいたいと思います。将来は建築家を目指す人が多いと思いますが、設計以外にも建築に関わる仕事は多岐にわたります。これから学ぶ中で、自分に合った建築との関わり方を見つけてもらいたいと願っています。

建築学部 鬼丸 貞友 教授

Profile Sadatomo Ohimaru
大阪大学工学部卒業、同大学大学院工学研究科博士課程修了。博士(工学)。民間企業を経て2015年に関西学院大学総合政策学部に着任。建築学部の創設に伴い2021年4月から現職。専門は建築の耐震構造、構造力学、地震防災。

My favorite

推理小説



若い頃からエラリー・クイーンやアガサ・クリスティ等々の推理小説が大好きでした。いかに謎を解くか考えるのが楽しいです。最近古い作品が新訳で再販されるので、つい購入してしまい、読み直しています。

Go Global!

オンライン外国語研修(チェンマイ大学)

瀬瀬 響七さん(総合政策学部3年生) 留学先 ▶ タイ



① 授業はオンラインのため自宅で受講 ② 授業の様子 ③ 授業で取ったノート

けること。もっと真剣なアドバイスとしては、日本に対して持っている期待やイメージを捨てて、自分を空っぽにして、スポンジのようになんでも吸収すること。「なぜこれをしていないのか」と聞くのではなく「なぜそれをするのか」を考えて、人々がどのような生活を送っているかを理解すること。自分の生活の方がどうか、日本の生活の方がどうか考えるのではなく、客観的になることです。

Q 好きな日本語は。

「出る杭は打たれる」です。日本文化においては誰も「杭」になりたくありません。でも、アメリカ文化では皆、個性を出すという意味でユニークでありたいと思います。日本に住んでいて思うのは、日本人は自分を

型にはめてしまい、自己表現が乏しいということです。「和」を乱していると思えるのではなく、自分の良さを見せていると思えるべきではないかと思っています。



students -whatever expectations or image of Japan you have, get rid of it. Empty yourself and be like a sponge, just pick up on things and culture. Don't really ask, "Why don't they do this?" but think more about why they do this, and just try to understand how other people live their lives, not thinking that your way of life is better or that the Japanese life is better, and being very objective.

Q You went to a Japanese language school for two years, so you should have a good answer for this. What's your favorite Japanese expression?

Deru kui wa utareru. In Japanese culture, you don't want to be the nail. But in American culture, you want to be the nail, you want to stick out, you want to be unique, not in a way that is boastful, but in a way that shows your characteristics. After living here, what I think Japan lacks is this kind of way to express yourself while fitting into the mold. In Japanese, it's bad because they see it as breaking the wa, but I think it should be viewed as a way to show your own good parts.

将 来は東南アジアで教育支援に携わりたいという思いから、大学2年生の秋学期にベトナムでの国際貢献活動を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止に。「何かできることを」と考えていたところ、オンライン外国語研修を知りました。タイ・チェンマイ大学で英語力を付けるのももちろん、関心のあったSDGsについても学べると思って、参加を決めました。

2020年9月の12日間、1日に1

回、オンラインのビデオ通話を通して、現地の先生による2時間半ほどの講義を受けました。関西学院大学の学生が約15人、現地学生が3人参加し、英語の授業では、先生が出す課題を基に2、3人のグループに分かれて英語でディスカッション。SDGsの授業は、ほとんどが講義形式でした。印象に残っているのは、目標11「住み続けられるまちづくりを」についての授業。どちらかというと先進国が取り組むものだという印象があり、関心が薄かった。

た目標でした。しかし、災害からの復興やまちづくりに深く関わっており、目標のために日本が支援してタイに橋を建設した事例などを聞いて、自分が考えていた教育分野以外での支援を知ることができたのは大きな収穫でした。実際に現地に行くとなると学ぶ目的が固定化してしまっていたかもしれませんが、オンラインで気軽に授業を受けられたからこそ、自分の視野の外にあったことに触れ、学びの選択肢を広げられたと思います。

コロナ禍でもオンラインで留学 学びの選択肢が広がった!



My favorite KG



チェッパン ザックリー ティモシー
CHAFFIN ZACHARY TIMOTHY さん

国際学部 (School of International Studies)
正規留学生 (Regular (degree-seeking) Student)
米国 (USA)

新しい言語を学ぶことで
国際ビジネスに役立つ
多角的思考が身に付きました。



Q 関西学院大学を選んだ理由は。

日本に来る前はミネソタ大学で学んでいたのですが、自分が何をしたいのかが分かっていませんでした。国際ビジネスについて2年間学び、カウンセラーから「国際ビジネスに興味があって学びたいなら留学しては」

学内の英語イベントで



と。そこでアジアへの挑戦を決めました。留学先を探し始め、関西学院大学のオープンキャンパスへ。キャンパスに感動して出願を決めました。また、関学の「世界市民」を育成するという考え方も好きで、これは世界市民になるための準備をしようというメッセージだと思いました。

Q 普段の生活は。

週に20時間の仕事をしながら、学費など全ての費用を自分で払っています。周りには自分よりもずっと若いですし、彼らの多くは両親が学費や食費などを払ってくれています。でも、働いて自分で学費などを払うからこそ、授業の時間を無駄にしたくないし、学校に対してもより真剣になることができます。

Q 関西学院大学で学んだことをどのように活用していきますか。

今感じているのは、新しい言語を学ぶともう一人の自分に出会う、ということです。物事を考える時に、欧米人のように考えたり、日本人のように考えたりします。これはビジネスにおいてとても役立ちます。例えば、車を売るためのコマーシャルを作る場合、日本的思考と西洋人的思考は違うので、国が違えばコマーシャルも違ってきます。今後、ビジネスよりもこのようなマーケティングの方面に進むと思います。そこでは、異国での生活から得た異なる視点が有利に働くと思います。

Q 関西学院大学で4年間学びたいと考える留学生にアドバイスを。

まず、奨学金申し込みの締め切りに気を付

Daily schedule on class days 1日のスケジュール



※登校する日のスケジュールです。

Q Why did you choose KGU?

Before coming to Japan, I was enrolled in the University of Minnesota, and I didn't know what I wanted to do. In my two years there, I learned international business. So a counselor told me, if you like international business, and you want to study this, then why don't you go abroad? I decided that I wanted to take on a challenge, and I chose Asia. I started looking at schools and I came to the KGU open campus, and I was impressed by the campus, so I decided to apply. Not only that, but I like the KGU motto, to become global citizens. And I thought that was a good message, to get ready to become global.

Q What is your living situation?

I pay for everything myself, and I work 20 hours a week. All my peers are a lot younger than me. Most of them take their parents paying for tuition and food and clothes as a given. But because of this experience of having to work and pay for everything myself, I'm more serious about school since I don't want to waste my class time.

Q How are you thinking about leveraging what you have learned at KGU?

When you learn a new language, you kind of become another self. So that's kind of how I feel now. I have kind of two ways to think about things. I have my American or Western side, and kind of the Japanese side. Going forward, I think this would be very useful in business. Just a very easy example would be how Japanese consumers think differently from how Western consumers think, so how you make a commercial to sell a car would be very different between the two countries. I guess that's where I would go towards, more of the marketing side. I think these kinds of insights from living in both worlds gives me a competitive advantage.

Q If you had advice for someone who was planning to join a four-year degree program, what advice would you give them?

My big advice would be to watch the scholarship deadlines. But as more serious advice for

Moment





環境保護と 経済発展の両立を!

私たち人間の社会は自然環境の破壊とともに発展してきました。その結果、地球温暖化や気候変動、森林破壊や海洋汚染など、さまざまな環境問題を抱えています。人間活動と自然破壊の歴史を振り返りながら、環境と経済の両立の重要性とその実現に向けた対策や取り組みを探りました。



総合政策学部
村田 俊一 教授

関西学院大学法学部卒業、ジョージワシントン大学院国際政治経済学研究所博士課程修了、ハーバード大学院ケネディスクール修了。2002年に関西学院大学総合政策学部に着任。国連開発計画(UNDP)での駐日代表等を経て、2016年に関西学院大学総合政策学部に着任。国連・外交関連プログラム室室長を兼務。専門は紛争・社会問題、開発援助政策、プロジェクト理論・Process consultation。



司法研究科
池田 直樹 教授

東京大学法学部卒業、弁護士。シガン大学ロースクール卒業(LLM)、シガン州司法試験合格、1994年まで現地の法律事務所勤務。2003年あすなろ法律事務所を開設。2004年に関西学院大学司法研究科に着任。専門はシミュレーション教育、環境リスク論。



経済学部
東田 啓作 教授

一橋大学社会学部卒業、同大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)。2009年に関西学院大学経済学部に着任。専門は循環資源貿易、水産資源管理。

日本社会は 経済開発至上主義により 発展を遂げてきた

村田 国連開発計画(UNDP)といわれる国連開発関連の中枢機関で30年ほど実務家として従事してきました。2015年の国連サミットで採択されたSDGsの中にも自然環境の保護は盛り込まれています。ただ、SDGsそのものが独り歩きして

いるようなところがあるので、そのバックグラウンドにも少し触れながら議論を進めていきたいと思えます。まず池田先生、私たちの暮らしと自然環境について踏まえておきたいことはありますか。

池田 今の社会は、持続可能な発展と言いつつ開発優先でずつとやってきたことは間違いないですね。法律にもかかわらず経済活動と調和があり、この調和と保護という意味では、1960年代の水俣病の頃の調和条項は、環境規制を進めすぎ

ず、経済の邪魔にならないようにしなさいというものでした。

村田 ショッキングですね。

池田 それが公害とつながっているのです。持続可能な発展は1970年代から言われてきた概念ですが、環境保護と経済発展の両立が本当の意味で成立してきたのかと言われると非常に怪しい。今なお自然公園法の中には私有財産との調和条項があり、その範囲での環境保護という側面を残しています。コロナ対策と同じで本音の部分では、環境保護が経済の支障になつてはならない

という考え方が延々と続いてきたのではないかと思います。開発か環境保護かというときに有名な日光太郎杉事件があります。日光東照宮にある古木「太郎杉」が前回の東京オリンピックを機に道路拡幅のため伐採されることに反対した行政訴訟で、東照宮が勝ちました。本来最も重視すべき価値を軽視し、古木を伐採するのは違法という判決です。しかし、これは例外的なもので、実際には土地の有効利用を考えるときに歴史的価値や自然的価値といった貨幣価値化、量化できないもの

※1…国連開発計画
United Nations Development Programme.
国連の開発ネットワークを先導する機関。世界170か国以上の国々で活動を進め、開発途上国の人々が開発目標を達成できるように支援している。本部所在地は米国ニューヨーク。

※2…SDGs
Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称。国連加盟国が2016年から2030年の15年間で達成するための目標で、17の大きな目標と、それを達成するための具体的な169のターゲットで構成されている。

と、道路の便益とのバランスを取ることは難しいのです。結局は裁判所も国の公益的な見地を重視してまいります。

自然を守る意思決定が 不利益を被る人々を つくり出すこともある

東田 池田先生が自然環境は貨幣価値で表せないとおっしゃったのでちよつと心苦しいのですが、

経済学ではそれを何とか貨幣価値に換算しようとして環境評価の手法を改善してきました。極端な話、ある地域の生態系など

一つの「自然」を全てあきらめて開発することも、社会が合意できるのであれば一つの選択肢だろうと考えます。ただ、一般的に

はそれは持続可能性の観点から合理的な意思決定でないことは明らかです。しかし、今日食べるものに困っている人々からすると

5年後、10年後の自然よりも今日の所得の方が大事です。50年、100年という持続可能な自然

の維持を、今日社会が合意できるかがポイントなのです。合意できるかどうかについては、いろいろな立場に置かれている人々の状況、あるいは何に動機づけられて

日々意思決定しているのか等を

考慮に入れないと、逆に自然価値を守るという意思決定が社会にとっては望ましくないことになる、不利益を被る人々を多く生み出してしまつことになるのではないかと思います。

池田 東田先生がおっしゃったことは私も感じています。結局、衣食足りて環境を語るというのが常にありますね。

東田 さまざまな所得の人、立場の人、状況に置かれた人が長期的な利益を考慮に入れて意思決定できるような制度を考えることがすこく大事だと思います。

社会問題は さまざまな側面から 横断的に解決するべき

村田 現存する社会問題は経済だけでなく、環境だけでも解決できるものではありません。すなわち

経済、社会、環境という三つのコンセプトを融合させた形態で問題解決のオプションを導くのが

SDGsの作られた背景です。経済、社会、環境に私はガバナンスをプラスしますが、要は横断的に

物事を考える必要性が出てきたわけです。経済が最優先されたために人間が犠牲を払ってきたことは確かですが、消費を増やさない

と経済発展につながらないという発展論がいまだに横行しています。それでは逆に、ものを大切にすることが悪かというところではなくて、その辺りの倫理観と調整能力が人間にはあります。もつと住みよい環境を次世代に受け継いで

もらおうという考えが、一つの倫理観、義務感としてあるのです。人間は生命の危機を感じないと自分の行動パターンを是正できない

ところがあり、問題が来ることは分かっていますが、効果的な予防措置をしません。東田先生、経済学者として今までの経済発展論に関して、犠牲を払う結果になった消費中心の物質文明をどう思われますか。

東田 必ずしも消費中心の物質文明とは思わないのですが、消費を増やすことだけが発展につながると考えられてしまう理由の一つは、経済成長の尺度にもありません。例えば、GDPは消費、投資

などの活動を捉えています。これは人々の生活水準を測るために極めて重要な尺度ですし、これ

からも重要であり続けます。一方で、GDPは物質的な豊かさにウェイトを置いています。そこで、環境や

健康の価値を考慮に入れた新国富指標という指標が作成されています。

※3…新国富指標



ます。持続可能性を考慮に入れているのです。九州大学都市研究センターの馬奈木俊介先生らによって、日本の市町村単位の新国富指標も公表されています。GDPと並行して、物質的な豊かさ以外を含めた指標を併用することで、経済発展の在り方を変えていくことが可能だと思います。もう一つは、人々の消費行動を持続可能なそれに市場を通して変えて

※3…新国富指標
現代経済の包括的な持続可能性を評価するために作られた指標。2012年6月に開かれた「国連持続可能な開発会議(リオ+20)」で、持続可能性の判断基準となり得る単一の経済指標として提示された。



いくことが考えられます。例えば、持続可能な方法によって生産された商品にラベルを付けて消費者にそれらの商品を購入するインセンティブを与えることができます。

一方、消費を減らしたものを大切にすれば環境を守れるか、あるいはエネルギーの消費が減るかという点と必ずしもそうではない場合があります。家電製品などは、長く使いすぎると古いものはエネルギー消費が多くて効率が悪いので、どの時点で買い替えるか、消費をし直すかの最適なサイクルがあるはずです。エネルギー消費への課税を工夫した制度を作り上げて最適な消費サイクルを促進することが大事です。

経済的な自由と公共の福祉による規制をどう両立させるかが鍵

池田 消費中心文明の倫理は法的には経済的な自由と、それに対する公共の福祉による規制と捉えられます。資本主義の下での経済成長は、世の中が無限に広がってフロントティアというものが常にあつて拡張し続ける、そのフロントティアにおける原価との差額でもうける形で成長してきました。しかし今、資源と地球空間の有限性がはつきりしてきました。有限な中でいかに持続可能な形で消費をしていくのかが問われていて、倫理だけでは世の中が動かないので、強制力も含めた制度をどう作っていくのかという時代になっています。最近、成長目標とは別に、何十%削減といった制限に関する社会目標がどんどん出て来ているのが一番象徴的で、その目標に対して経済や法律の制度、われわれの価値観がうまく転換できていない状況です。また、気候変動をいくらか叫んでも、世の中にはそういうことに絶対に耳を傾けない層の人たちが一定数います。そういう人たちは無限の人間の拡大に対する確信的な価値観を持っているの

です。このような状況で本来に地球環境と経済活動を両立できるのか。最近、危機感を抱いています。

環境破壊の被害を一番受けるのは貧困層や途上国

村田 貧困層や格差是正を最重要視することはSDGsのゴール1に定められています。経済発展の影で取り残されている人たちが、例えば子ども食堂の利用者、二トヨタ片親家庭など、貧困から抜け出せない層が随分増えています。そのような層に対しても、環境問題との接点と解決策を模索していかなくてはなりません。

池田 問題意識だけで言うところ Environmental Justice(環境正義)^{※5}。環境問題は全人類に影響を与えるけれども、決して公平な形でリスクは配分されない。最初に環境正義が問題になったのは、より貧困な地域に有害廃棄物の処分場や公害を出す工場が偏る現実からです。そこで被害が出ても結局その人たちは明日の生活に追われてなかなか声を上げられない。結局、環境破壊の被害を一番受けるのは貧困層や発展途上国ということになります。それは是正するために法律的にどう

すればより良い制度ができるのか。これがとても難しい。一つには、どんな人でも必ず基本的人権がありますから、問題をきちんと告発し認識を共有して社会問題にしていくという、人権をベースにした社会問題化が大事です。それを政治経済の仕組みにうまく還元



していかなければいけないのに、目詰まり状態で、簡単に制度の変革まで行き着きません。こうした問題はNGOやNPOが重要な役割を担っているのですが、日本ではNGOやNPOの財政基盤や法的地位が弱い。一方で、企業や行政など大きなセクターは政治に声が届く仕組みになっています。市民を背景にしてNGOやNPO

※5…環境正義
環境に対する利益や負担の不公平、不公平な分配を不正義とする思想。

※4…子ども食堂
地域住民や自治体が主体となり、無料または低価格で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場。



などがきちんと政治過程に影響していくという通路がまだまだ非常に弱いと思っています。

村田 国際的には、核兵器条約などにはNGOやNPOの団体がすごく活躍しています。日本はかなり遅れているところはありますが、弱者の声を拾い上げていくことに関して東田先生はいかがですか。

弱者や貧困層の選択を当事者の立場で考え 環境保護との両立を進める

東田 所得の高い人の方が一般的にエネルギー使用は多いです。環境問題をどうクリアしていくかはマーケットメカニズムを利用してエネルギー消費や排出を環境の視点から考えていく必要があるでしょうし、格差の問題、つまり公平性の観点からは所得再分配の政策が必要だと思います。国家間の格差も同様ですが、環境正義を考えると時には、時として注意する必要があります。例えば、ごみの貿易、国境を越える移動は全て良くないとか、途上国の人々が

たくさん魚を取ったり木を切ったりしているのは良くないこととして、当事者の意思決定に先進国の人々が過度に介入しようとする点があります。廃棄物を先進国から途上国に輸出することが全て悪かというところではありませんが、途上国の人々が廃棄物の中から再利用可能な資源を取り出し、そこから所得を得たり、生産活動につながったりしているのも事実です。それは彼らの意思決定として尊重すべきかもしれません。一方でごみを受け入れた後、途上国の中でもより立場の弱い人々にそれを押し付けるということであれば、ごみの貿易に制限を加えていくことは必要です。つまり、先進国の人々の価値観でのみ廃棄物の越境移動を考えると、逆に弱い立場の人の生活とか所得を奪ってしまうリスクがあるので、途上国の人々の立場に立って考え、環境被害をもたらさない、資源としての廃棄物が移動する仕組みをつくるのが大事です。

利益最優先から環境保護へ 企業が変革している

村田 高度成長期時代の1970年代、企業が利益を最優先

にした時代があり、公害問題を中心に市民団体から批判され、法律的にも裁かれる中で企業自体のイメージや企業倫理という観点でCSR、企業の社会的責任が問われてきました。さらにSDGsの中でESG(環境・社会・ガバナンス)といったラベルを張りながら懸命にイメージを変えようとしています。東田先生、企業の変化というものを、歴史的な要素をたどりながら説明していただけますか。

東田 歴史については良く分かりませんが、過去20〜30年ほどについては、企業の環境への配慮は世界的に高まってきました。また、企業が利益を上げるのは大事なことです。利益の増加が従業員の所得を高め、そのことが環境意識を高めることにつながります。東南アジアなどで事業を行っている企業の中では、先進国が直接投資を行っている企業の方がローカルな企業よりも環境意識は高く、汚染の排出も相対的には少ないという研究もあります。なぜこれだけ企業が環境のことを気にするようになったかという点、やはりマーケットでその企業の環境に対する意識や行動が評価されるようになったからです。多くの人々が企

業を評価するための多くの情報を得ることができるようになり、金融市場でも環境に対して配慮を行っている企業に投資できるような商品ができてきました。強制的な政策ももちろんですが、マーケットによる評価も企業行動を変え効果があると考えています。



村田 現状における企業の行動パターンというか行動変容は東田先生に同意しますが、1970年代はそうではなかった。犠牲者が立ち上がったことで企業のアカウンタビリティ、すなわち企業経営における原理・原則が変化し、それを受けて政府が行政指導という形を取り、法律が変わっていったと私は思います。

※6…ESG投資
Environment(環境)、Social(社会)、Governance(ガバナンス)の3つの観点から企業の将来性や持続性などを分析・評価した上で投資先を選別すること。

※7…グリーンボンド
環境改善効果のある事業に充てる資金を調達するために発行する債券。

※8…サステナビリティボンド
環境や社会の持続可能性に貢献する事業に充てる資金を調達するために発行する債券。

池田 長期的に企業が存続し

続けようと思うと、世界的な環境規制や環境の保護の流れに反しては成り立たないということがはつきりしてきました。多くの命が失われて初めて重い腰を上げたのが70年代です。それがようやく、20年、30年という長期目標からバックキャストして、今何をすべきか立案していかないと、今は一時的に好調でも続かないということが分かってきたのです。

村田 企業の有りが変わってきたという意味では今、ESG投資でもグリーンボンド、サステナビリティボンドができています。地方の生産性と魅力が相まって、都市化を緩和したり、コロナ禍での地方への若者移住を促進したりするかもしれません。

環境保護におけるインセンティブスキームの設計を

村田 多国籍企業が環境汚染の

現状を把握しているにもかかわらず、問題解決の実施や技術移転を怠ったために汚染が広がっていった例が途上国では多々見受けられます。特に石油関係の採掘となれば、資本提供している産業界には直接影響はないが、途上国での採掘が労働的にも、そして環境的にも非常に悪い影響を及ぼしてきたということもあるわけです。

これからは、中央政府、地方自治体、企業、CSO、そして私たちの協力関係が大切です。行為主体がこれほど多様化する中でバランスの取れた協力関係ということに関して、東田先生にご意見をお願いしたいと思います。

東田 分権化するのがいいと考えています。まず中央政府は中央政府にしかできない制度を設計するべきです。例えば地域間の調整が必要な再生可能エネルギーへの投資やそれへの補助金の交付をしたり、過度な都市化が起こっているのであれば地方移転をする企業や人に補助金を交付したりすることです。また、経済環境でも、自然環境でも、いい環境をつくり上げて、より多くの人や企業を引き付けることができるように、地方自治体ができるこ

とを増やす必要があります。都道府県や市町村ができる政策の種類や幅を増やして地方自治体間のいい意味での競争が働くようにしていくことですね。さらには消費者もマーケットを通じて環境問題の解決や持続可能性に貢献できるような制度を充実させること。先ほどお話しした、商品にラベルを付けて消費者が環境に配慮した消費をするようにインセンティブ付けをしていく制度を、政府機関、国際機関、あるいはNGOが作る。そして、より多くの人々がその制度に参加をして、個々の意思決定で持続的な資源利用や環境問題の解決に貢献できるようにすることがいいのではないのでしょうか。

池田 重要な意思決定において市民や公益的な発想の意見が取り入れられるような多様なチャンネルが社会の中にもっとできないと駄目なのかなと思います。

村田 日本政府の行政形態は非常に中央集権的です。地方自治体が自治権をさらに強化し、自分たちの町はなるべく自分たちでケアしていくということに関してはまだ抵抗感があると思います。まして財務的には予算をなかなか地方に移譲しないという内部の

非常にひずんだ構造があるわけです。お二方の言われるように、二つの高いところで決定するのは順当な考え方であって、全て中央で決定するようなものでもないと思います。これからは、自治体が環境に優しいESG投資ができるような環境を構築していくでしょう。



うし、最近では中央政府の信用度が少しずつ落ちてきているような気がします。

リスクを引き受ける世代に働き掛けることが重要

村田 持続可能な環境を次世代につないでいくための教育の改革については、どう思われますか。

※9…CSO
Civil Society Organizationの略で、「市民社会組織」と訳される。NPO法人、市民活動団体、ボランティア団体に限らず、婦人会、老人会、PTAなども含まれる。



池田 原発の問題も気候変動の問題もそうですけど、技術発展や開発による恩恵を一番受ける世代とその結果におけるリスクを引き受ける世代がずれるわけです。その結果、財政も含めて一番危機を背負うのは将来の世代です。第一は教育を通して危機感を若い人にどう持つてもらおうかだと思います。私が学生の頃、教授が「君らは成長の時代しか知らないけれど、歴史には必ず降下していくターニングポイントがあつて、君らが生きている時代にもあるのだ」と言ったことを覚えています。当時は、まさか環境問題とは思いませんでしたが、今の世代は環境問題をはじめリスクが本当に現実化するという危機感を持つべき世代だし、多分持っている世代です。その潜在的

な危機感をきちんとした知識で裏付けることが教育改革の重要な課題です。第一点はそれを学ぶ時の知的態度の在り方が非常に難しい時代になっていること。いろいろな論争があり、多様な考え方があるのにどんどん二極化しています。危機感を共有しながらも反対の意見をきちんと聞き合ひ味しながら、より正しいと思われる情報を、あるいはそれに基づく行動を選択していく知的態度を鍛えるのが肝要です。「知性というのは他の意見との摩擦に耐える力だ」という言葉がありますが、こういう時代だからこそ、違意見との摩擦に耐え得るような知的態度を大学でしっかり身に付けるようにしないとイケません。最後に、評論家ではなくアクターとして行動できる、消費者、有権者としてのアクションができる人になつてほしいです。

東田 今の学生は物事を主体的に論理的に考え、それを人と意見を戦わせて合意を持つていくというプロセスが不得意になつていると感じます。建設的な批判は合意に行くプロセスにとつて、とても大事なことです。確かに私も教育の過程で、学生にアンケートを実施させたり人の意見を聞きに行かせたりするのですが、その後の議論や考察が不十分であると感じています。大学教育全体が、現場を見ればいい、何かを体験すればいいみたいな雰囲気になりすぎていてはないでしょうか。あと経済学的には、費用の概念というものをきちんと認識してもらうことが大事だと思います。例えば、リサイクルをすることにも多くのエネルギーが必要です。また、レジ袋の有料化が実施されましたが、エコバッグをたくさん買い、捨ててまた買ってということをするようでは意味がないです。レジ袋を有料化することで、その利用が減るといふメリットはありますが、一方で社会全体でどのようなコストが発生する可能性があるのかを考えてほしいと思います。

**私たち教育者には
若者を育てる
義務と責任がある**

村田 私たちは教育者として、多様で複雑多岐にわたる環境問題を経済、社会、環境、ガバナンスからアプローチし、さらに、一般教養と専門性という二つの観点から学生たちをトレーニングする義務と責任があると思います。また、政策を立案・実践し、合意形成の中に参加していく中央政府、地方自治体、企業、CSOの役割をもう一度精査する必要もあるのではないのでしょうか。「Think globally, Act locally」という言葉がありますが、やはり広いいろいろなことを考えて、自分で足元から実践していくことを教えないといけません。知識、知的態度、行動力、そしてそういう機会を与えるフィールドワーク等々のコンピネーションを、この21世紀でどう整えていくのが大事になってくるかと思えます。次のジェネレーションにどういった環境をどういった形で継承していくのか。その時期は刻々と近づいてきています。SDGsのゴール17のパートナーシップは方法論ですが、未来をけん引していく若者たち同士のパートナーシップ、そして若者たちのために私たち教職員もその環境を整える責任があると考えています。





体育会 陸上競技部

創部 / 1918年
部員 / 125人
監督 / 竹原 純一
主将 / 川上 ヒデル
練習場所 / 西宮上ヶ原キャンパス 第2フィールド

「Stay Gold」をスローガンに
歴代最強のチームを目指す

1918年に創部されてから今年で104年目を迎え、関西でも有数の伝統ある部活動です。現在は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、部全体で集まる練習はできないため、個人練習を中心に週に5日ほど活動しています。このような厳しい状況下だからこそ、これまでより個人に裁量を持たせ、活動のマネジメントなどの細部にまで目を向けることでチーム全体の士気を高めることに注力しています。

今年のスローガンは「Stay Gold」。黄金や勝者の象徴とされる「Gold」と、居続けるという意味の「Stay」から、「勝者であり続ける」という思いが込められています。その言葉の通り、どのような状況

KG CLUB by KGB

昼休みの放送や番組制作などを行っている関西学院大学唯一の放送団体・KGB総部放送局が、多彩な課外活動を紹介します！

KGBの活動は

Twitter→<https://twitter.com/KGBbroadcast>



Pick up

第97回関西学生陸上競技対校選手権大会での優勝トロフィーと部旗

個人での練習しか行えないという状況にもかかわらず、2020年10月に開催された選手権大会では総合優勝を果たしました。部旗は部員たちの勇姿を象徴するかのようには力強くはためています。



であっても競技成績を伸ばし「勝者」となっている選手が多くいます。成績を残す選手たちを後押ししているのは「歴代最強のチームを目指したい」という川上ヒデル主将の強い気持ちです。「最強」という言葉は、よりスティックで力を付けた選手が多く在籍していることや、そうした選手から良い影響を受けて自らを高めようとする姿勢がチームに見られることの自信の表れでもあります。

また、授業ではほとんど学校に来る機会がなかった1年生をはじめとする後輩に対して、川上主将が個別面談を行うなど、チーム内の壁をなくすことにも尽力しています。

今後、全日本学生陸上選手権大会総合3位入賞という最終目標に向けての挑戦が始まります。どんな時にも輝きを失わない関西学院大学陸上競技部が、陸上界に旋風を巻き起こす日は遠くありません。

初等部で作品展を開催 個性あふれる作品が並ぶ

関西学院初等部は、児童が制作した美術作品を体育館内に展示する作品展を2月8日(月)から1週間ほど開催しました。並んだ作品は色や形、表現方法が異なる個性的なものばかり。会場の入り口には、全校児童が石にペイントした「わたしの魚」が並びました。コロナ禍でも学校全体が一つになれる企画をと、代表委員の児童が発案したものです。



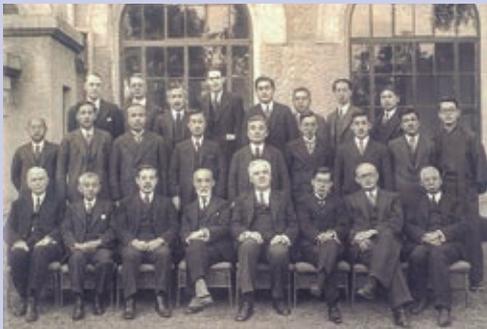
「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」へ 中学部がペットボトルキャップを寄付

関西学院中学部の生徒が、3年生生徒会役員の活動としてペットボトルキャップの回収を実施しました。期間は2月の約1カ月間。開発途上国の子どもたちにワクチンを届ける活動を行う「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」への寄付を目的に、ポリオワクチン32.5人分に当たる約2万300個のキャップを集めました。



関学カプセル…49

大学学部創設



1934年、法文学部と商経学部を開設。両学部は大学院を併置し、1937年に第一回の卒業生を輩出しました。写真は、旧制大学創設当時の教職員(1934年)。

千里国際中等部・高等部(SIS)で 卒業生が講演

関西学院千里国際中等部・高等部(SIS)は3月1日(月)、卒業生で、現在は総合商社で働きながら教育事業「ANOTHER TEACHER」の代表を務める小澤悠さんを招き、9年生に向けた講演会を開催しました。卒業を控えた9年生に対し、失敗を恐れることなくチャレンジすることの意義や人生観について、ユニークな体験談を基にメッセージを伝えました。



電子情報通信学会コミュニケーションオリティ研究会で 三柳海渡さんが優秀オンラインポスター賞

巳波弘佳研究室の三柳海渡さん(理工学研究科情報科学専攻M2年生)が、1月21日(木)に開催された電子情報通信学会コミュニケーションオリティ研究会において、優秀オンラインポスター賞を受賞しました。これは、オンラインで開催された研究会において、優秀な研究を行ったポスター発表に対して送られるものです。



「Withコロナと災害〜どう創るニューノーマル」をテーマに 「2021年 復興・減災フォーラム」開催

過去の被災地の経験やその中で得られた知恵を共有する「2021年 復興・減災フォーラム」(日本災害復興学会共催、朝日新聞社後援)が1月9日(土)から2日間、西宮上ヶ原キャンパスの関西学院会館で開催されました。関西学院大学災害復興制度研究所が毎年開催しているもので、「Withコロナと災害〜どう創るニューノーマル」をメインテーマに、全国被災地交流集会「円卓会議」や基調講演、パネル討論を行いました。



「AI活用ワークショップ」をオンラインで開催 大学生と高校生120人が参加

関西学院大学は3月6日(土)、「AI活用ワークショップ」をオンラインで開催しました。AI(人工知能)を活用して社会のさまざまな課題を解決できる人材を育成すべく、2019年度から「AI活用人材育成プログラム」を開講しており、今回は、関西学院が高等部を拠点校として実施しているWWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業「AI活用 for SDGs」と連携して取り組みました。AI活用人材育成プログラムを受講している大学生と、WWL拠点校・連携校の高校生合わせて120人が参加し、AIを活用した課題解決のアイデアや開発したアプリケーションについて発表し、ディスカッションを行いました。



学生、卒業生向けの各種証明書 全国のコンビニで即日発行可能に

関西学院大学は、学生が必要な各種証明書について、大学の窓口に来なくても全国の主なコンビニエンスストアで即日発行できるサービス(証明書コンビニ発行サービス)を3月4日(木)からスタートしました。オンライン授業が中心になった昨年5月から今年3月まで、授業に必要な資料等を全国のコンビニで印刷できるネットプリントサービスを実施。それに続く学生向けの取り組みです。証明書が必要な場合、これまでは大阪梅田や東京丸の内も含めた各キャンパスで発行する必要がありましたが、パソコンやスマートフォンのブラウザ機能で証明書の発行申請・決済を行えば、全国のコンビニエンスストアに設置されたマルチコピー機から、その日のうちに成績証明書や卒業証明書などを発行できるようになりました。在学生だけでなく、卒業生も利用することができます。

KGグルメ

Lunch Box (神戸三田キャンパス)

担々麺

肉 のうま味と唐辛子の辛味がしっかりと麺に絡み、奥行きのある味わいを醸し出します。見た目も鮮やかで、食べる前から満足度の高い一品です。まずはそのまま食べて楽しんで、後半は卵を混ぜて味変を!二度楽しめるおいしさがあなたのおなかと心を満たします。473円(税込み)。



關谷武司・国際学部教授のゼミ生と卒業生が 『私たちが勉強する意味』『私たちはこう生きる』を出版

開発途上国における教育開発などを専門とする国際学部の關谷武司教授のゼミで学ぶ学生と卒業生たちが、「大学生活における自分たちの気付きや葛藤、決意を社会に発信したい」と『私たちが勉強する意味 ー最高に楽しかったブラックゼミー』『私たちはこう生きる』の2冊の本を出版します。「学ぶ意味」を徹底的に問い直した学生たちが、今後の人生における生き方や在り方を考え、成長していくストーリーや思いをまとめています。4月末までに出版予定。



KSCで焚火を囲んだ交流 学生ら54人が非日常を体験

地域性を生かし、普段とは異なるキャンパスライフ(日常の中の非日常)を学生に体感してもらおうと企画された「焚火 talk @ KSC」が12月14日(月)から3日間、KSC(神戸三田キャンパス)のSky Gardenで開かれました。昨年6月に締結したアウトドア総合メーカーSnow Peakとの連携協定を踏まえた初めてのプログラムで、同社スタッフも参加。新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、「1 day キャンプ」として実施しました。

3日間でKSCの学生ら54人が参加し、学部・学年を越えたディスカッションや、焚火を囲んだトークで交流を深めました。学生からは「KSCでしかできない貴重な体験」「焚火を囲むとあっという間に仲良くなった」などの声がかれました。



AI活用人材育成プログラムの総まとめ授業第1弾 「AI活用発展演習I」を実施

2019年度から文系も含む全学部生を対象に始めた「AI活用人材育成プログラム」の総まとめ授業の第1弾となる「AI活用発展演習I」が2月22日(月)から4日間、集中講義で実施されました。

このプログラムはAI(人工知能)を使いこなせる人材の育成を目指し、日本アイ・ピー・エム株式会社と協働で開発したもので、演習は企業などから提供いただく現実の課題をテーマにチームで解決策を提案するPBL(Project Based Learning、課題解決型学習)として2科目が設定されています。今回は、大同生命保険株式会社の協力で実施する「AI活用発展演習I」。初日と最終日は大阪市北区の日本IBM大阪事業所で対面、2、3日目はオンラインによる授業で、商学部と理工学部の学部生3人が受講し、理工学研究科の大学院生1人がサポートとして加わりました。



産学連携でペットボトル年間約10万本を削減へ KSCに国内大学初の「BIZCAFE」誕生

関西学院大学は、本年度からKSC(神戸三田キャンパス)を2学部から5学部にも再編するのに合わせ、理系学生のビジネスマインド醸成を目的とする新たな学びの場「BIZCAFE」を同キャンパスのアカデミックコモンズ内に国内の大学では初めて開設します。また、学内でのペットボトル消費量の年間約10万本削減を目指し、この「BIZCAFE」に学生が関西学院オリジナルのマイボトルを持参するとコーヒーや紅茶等の飲料を無料で提供する仕組みも始めます。

こうした取り組みについて、2月24日(水)、協力いただく株式会社エンリッジョン(本社:京都市)、株式会社スノーピーク(本社:新潟県三条市)との共同記者発表会をKSC(オンライン併用)で行いました。



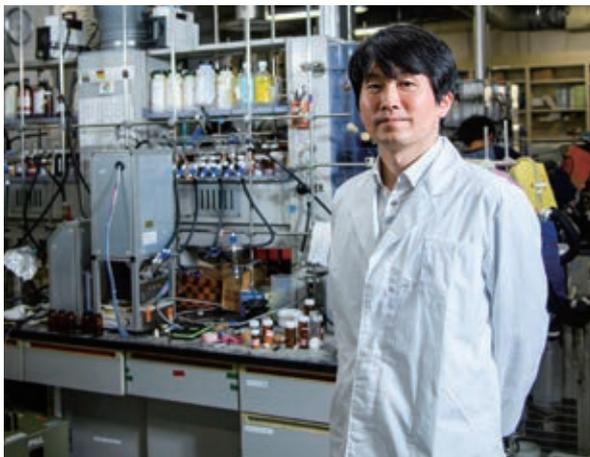
※マイボトルの開発に関わった井上沙紀さん(総合政策学部3年生)を「ひととひと」11号で紹介しています。

島山琢次・理工学部教授らが高性能純青色有機EL素子を開発 英国科学雑誌「Nature Photonics」のオンライン版で公開

島山琢次・理工学部教授と九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター(安達センター長、中野谷准教授、Chan研究員、田中研究員ら)の研究グループは、高効率かつ高速な逆項間交差速度を示す新規TADF分子と発光線幅の狭い純青色発光分子を組み合わせ、TADF分子のエネルギーを純青色発光分子へと移動させることで、高い発光効率・色純度・素子耐久性を併せ持つ高性能な青色有機EL素子の開発に成功しました。

試作した青色有機EL素子は、最大27%の高い外部EL量子効率とともに非常に狭い半値全幅(19ナノメートル)のELスペクトルを示します。さらに、この青色有機EL素子は、初期輝度1,000 cd/m²における輝度劣化時間(5%劣化)が10時間以上と、高効率青色有機EL素子としては飛躍的に高い駆動安定性を示すことを明らかにしました。今後、素子構造の最適化などによるさらなる素子耐久性の向上が期待でき、ディスプレイの超低消費電力化に寄与する青色有機EL素子を実現できると期待されます。

研究は文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラムの支援のもと行われ、この研究成果は1月4日(英国時間)、英国科学雑誌「Nature Photonics」のオンライン版で公開されました。



次世代パワー半導体SiC基板の革新的プロセス技術を開発 脱炭素社会の実現に挑む



関西学院大学は3月1日(月)、次世代パワー半導体材料SiC(シリコンカーバイド)基板内の「欠陥」を無害化する、非接触型の表面ナノ制御プロセス技術「Dynamic AGE-ing®」について、記者会見をオンラインで開き、発表しました。豊田通商株式会社と共同で開発に取り組んでいるもので、発表会には合計22社24人が参加。村田治学長(関西学院理事長代行)と金子忠昭・理工学部教授が、この技術の革新性と、社会実装に向けた豊田通商とのオープンイノベーションに関する取り組みについて説明しました。

パワー半導体とは、電力や電源の制御・供給を行う半導体の総称で、あらゆる電子機器に使われています。現在、その基板の大半はSi(シリコン)が母材となっていますが、今後は、SiCパワー半導体の需要が大きく広がると見込まれています。SiCは、Siと比較して、電力ロスを大幅に低減でき、電力利用の効率化および冷却装置の小型化を可能にします。この特性を生かして、電気自動車(EV・HV・FCV)や鉄道、産業機器、電力などグリーンイノベーションが進む分野でSiC基板の実用化が始まっており、今後、脱炭素社会の実現に向けて、その波及効果が極めて大きいと期待されています。

読者アンケート & プレゼント

Present

関学ジャーナルのアンケートにご協力ください。ご協力いただいた方の中から抽選で3名様に「*ドライポロシャツ」をプレゼントします。右記QRコードからアンケートにお答えください。締め切りは2021年5月31日(月)。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

※アンケートの自由記述欄のどこかに、希望のサイズ(S、M、L、XL)とカラー(ネイビー、ブルー、ホワイト)を記入してください。

※お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの発送以外では利用いたしません。

Question
naire

アンケートの回答は
こちら



ブルー

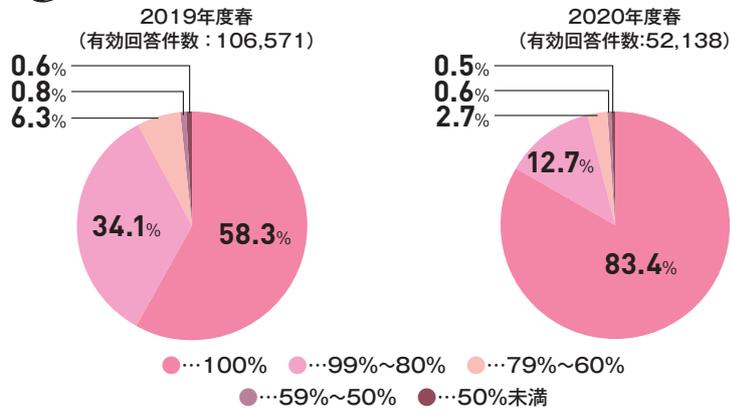
ネイビー

数字でみる関学

関西学院大学は2020年度の春学期、初めてとなるオンライン授業を実施しました。通常授業を実施した2019年度春学期と比較して、2020年度春学期の学生たちの学修行動の変化と満足度について紹介します。

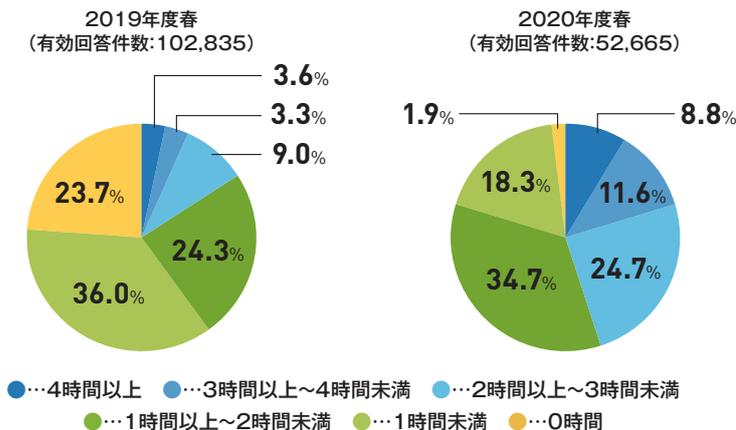
2019年度と2020年度春学期の学生の学修行動と満足度

Q 授業にどの程度出席しましたか。



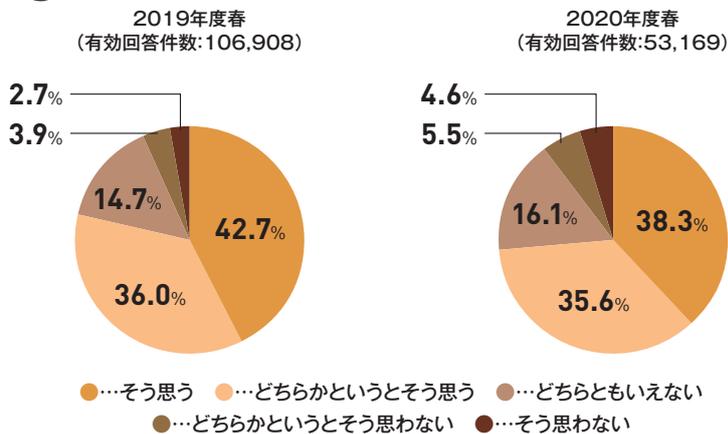
オンライン授業だった2020年の春学期の方が、出席率は高い数字が出ています。大学までの移動がなくなった分、授業への出席のハードルが下がったことが要因の一つかもしれません。

Q 授業時間外の学習時間(予復習・課題など)に対して、平均して1週間にどれくらい費やしましたか。



授業時間外の学習時間は2020年度春学期の方が圧倒的に増えています。学生によるとオンライン授業ではそれぞれの授業で一定量の課題が出るため、これまでと比べて課題に費やす時間が増えたようです。

Q 全体として授業に満足していますか。



多少の低下は見られるものの、急きょオンライン授業を行った2020年度春学期の授業に対する全体の満足度(そう思う・どちらかというと思う)は70%を超えています。特集の7で紹介した通り、特に満足度が高かったのは、録画した映像や音声配信する「オンデマンド型」の授業でした。時間を選ばず受講できること、復習のために何度も見られる点良かったのかもしれない。



既存の歴史的な建物を生かしたデザインに挑戦する日々



ロンドンから30分ほどの郊外の町・セッチン



働いている設計事務所のオフィス。3月現在はロックダウンによりリモートワーク中

卒業後、イギリスのロンドンにあるArchitectural Association School of Architectureの学部編入し、修士課程まで修了。学部卒業後にロンドンの住宅設計事務所で1年間の実務経験を経て、現在はロンドン近郊の田舎町のヒッチンにあるWhitebrick Studiosという小さな設計事務所まで2級建築士として働いています。

事務所では主に住宅の改築、田舎ならではのわら葺き屋根の家の増築、納屋や歴史的建造物の改修のプロジェクトを担当しています。日本とは異なる気候のため、資材や工法、生活様式にも違いが生まれ、常に新たな発見があります。物事を見る角度が変われば、同じ空間でも違って見えてきたりします。イギリスでは築100年から200年の建造物は一般的で、歴史的建造物として登録されていることも珍しくないので、既存の建物を生かしてデザインすることが多いです。

既存の建物を考慮しながら、学んできたアートやデザインの技術を活用して、実際に空間をどう変化させていけるのが挑戦する日々です。

在学中は国際協力や政治経済にも興味があり、総合政策学部で専門分野を超えた学びを広く得ることができたと感じています。都市や社会という目線で建築を捉えることが、大小の違ったスケールからプロジェクトを理解する今の姿勢につながっていると感じます。

「将来どんなことをして生きていきたいか」はいろいろなことに挑戦して、自分の好き嫌いが見えて初めて分かると思います。学際的なアプローチや国際性など、関西学院大学にはたくさん人や物事に触れる機会があるので、積極的に挑戦してみることをお勧めします。自分の好きなことを見つけて、実りのある学生生活を楽しんでください。

協定校紹介

バーミンガム大学 University of Birmingham

英国の研究型大学で構成されるラッセル・グループに属し、現在1万9,000人を超える学部生および9,000人を超える大学院生が在籍しています。卒業生には11人のノーベル賞受賞者や英国首相2人をはじめ著名人が多数います。イングランドで最も古い1902年に開講した同大学ビジネススクールのMBAは、英エコノミスト誌で英国第1位にランクされた名門コースです。またTimes Higher Rankingsの世界大学ランキング2021では107位、QS世界大学ランキング2021では87位にランクインしています。

2015年に始まったキャンパス設備の改修には183億円以上を投資し、図書館やインドスポーツセンターなどの学生が利用する設備の充実に力を入れています。

在籍している教員の31%が外国籍であり、5,650以上の海外機関と共同研究を実施しています。現在は学生の10%が留学していますが、大幅なカリキュラム改編を行っており、2024年までにはこれを26%に増加させる目標を掲げ、国際化にも積極的です。





大学図書館Webサイトでは、開館日・開館時間、図書館情報の確認やOPAC(蔵書検索)、データベースなどの情報検索ツールを使うことができます。



大学図書館を活用しよう!

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。大学ではレポート作成や研究をする上で多くの図書・資料を使うことが欠かせません。大学図書館の使い方やポイントを紹介します。

注意：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、開館時間の変更や一部サービス停止となる場合がありますので、大学図書館WebサイトのINFORMATIONにてご確認ください。

- ▶ 大学図書館は西宮上ヶ原キャンパス大学図書館、西宮聖和キャンパス図書館、神戸三田キャンパス図書メディア館の3館です(所属キャンパス以外の大学図書館も全て利用できます)
- ▶ 大学図書館への入館、図書の貸し出しには学生証が必要です
- ▶ 学部生は10冊まで14日間借りることができます(参考図書、新聞、雑誌、DVD等は館内で利用できます)
- ▶ OPAC(蔵書検索システム)で図書の検索・予約、取り寄せ、貸出期間の延長ができます
- ▶ 授業のある期間の平日は、西宮上ヶ原キャンパス大学図書館は8時40分から22時、西宮聖和キャンパス図書館は8時40分から21時、神戸三田キャンパス図書メディア館は8時50分から22時まで開館しています
- ▶ 履修登録やレポート作成にも使用できるパソコンがあります

- ▶ 大学図書館の利用や図書・資料の探し方などについて、質問・相談できるレファレンスカウンターがあります
- ▶ 西宮上ヶ原キャンパス大学図書館、神戸三田キャンパス図書メディア館では、館内で使用できるノートパソコンの貸し出しサービスを行っています
- ▶ 電源用コンセントの付いた閲覧机もあります
- ▶ 西宮上ヶ原キャンパス大学図書館、神戸三田キャンパス図書メディア館には、グループでの学習や研究のためのグループ閲覧室があります
- ▶ 学術書だけでなく、小説などの文庫本、旅行ガイド、映画のDVDも所蔵しています
- ▶ コーナーの紹介や新サービスの情報などを、大学図書館Webサイト、公式Twitterでお知らせしています



大学図書館Webサイト
https://library.kwansei.ac.jp/

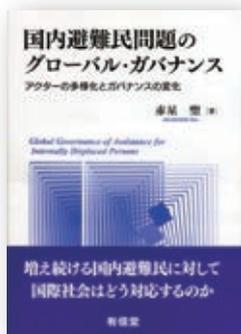


@KG_Lib

関西学院大学図書館コミュニケーションキャラクター
関学図書館のなかまたち



教職員の新刊



国内避難民問題のグローバル・ガバナンス アクターの多様化とガバナンスの変化

赤星聖 法学部准教授 著
有信堂高文社

世界には、紛争や自然災害などの理由によって国内で避難を強いられる「国内避難民(IDP)」と呼ばれる人々が約4,500万人いるとされています。台風や地震に頻繁に襲われる日本もまたその問題と無縁ではなく、避難所生活を強いられる人々のニュースは多く目にするでしょう。本書は、政府が脆弱でIDP問題に対処できない場合、国際社会がどのようにIDPに支援を提供してきたのか、国連の活動に着目して解明しようとするものです。



旧約聖書の物語解釈
水野隆一 神学部教授 分担執筆
リトン



みんなの民俗学
ヴァナキュラーってなんだ?
島村恭則 社会学部教授 著
平凡社



経営社会学 その視座と現代
野瀬正治 社会学部教授 著
大学教育出版



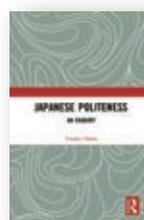
「働き方改革」の達成と限界
日本と韓国の軌跡をみつめて
横田伸子 社会学部教授 共編著
関西学院大学出版会



英語実証研究の最前線
梅咲敦子 商学部教授 共編著、
住吉誠 経済学部教授 分担執筆
開拓社



ソーシャルメディア論
行動データが解き明かす人間社会と心理
土方嘉徳 商学部教授 著
サイエンス社



JAPANESE POLITENESS
AN ENQUIRY
尾鼻靖子 理工学部教授 著
Routledge



英語教師の生涯にわたる成長支援
論証に基づくアプローチの尺度開発への応用
三上明洋 教職教育研究センター教授 著
風間書房

*本データは、これらの書籍が刊行された当時のものです。*これらの図書の多くは、大学図書館で貸し出しています。

聖書に聞く



院長 舟木 讓

愛には偽りがあってはなりません。
悪を憎み、善から離れず、兄弟愛をもって互いに愛し、
尊敬をもって互いに相手を優れた者と思いなさい。

新約聖書 ローマの信徒への手紙 12章9-10節

今

回の聖句は「愛」や他者への「尊敬」という観念的な理想が語られているように感じるかもしれませんが、しかし、コロナ禍という試練の中、私たちは改めて自分の言動が他者や社会に与える影響を実感し、他者を愛し、尊重する必要性を学びました。手洗い・うがい・手指消毒・マスクの着用といった、その成果を自らは実感しにくい「丁寧」な行動が、自らと他者の健康を守ることにつながるといったこともその一例です。すなわち、自らの命や健康に「丁寧」に向かい合い、愛することが、すべての人々の命と健康を愛し、尊重することにつながるということです。

ここから、自らと他者に「丁寧」に向かい合い、互いの存在をかけがえないものとして「尊敬」することが、この世界に真の平安と希望をもたらすことが分かります。この実践は、異なる考え方を持った人々との共存の中では難しいようにも思えます。ただ、自らの言動が思いがけない形で人を励ましたり、逆に傷つけたらという経験は誰しもあるのではないのでしょうか。

他者に負の影響を与えない言動は何か、ということに敏感となり、「丁寧」に生きることが、一人ひとりの存在が尊重される社会を形成する「愛」の実践に他ならないといえます。コロナ禍の試練が継続する中、私たちが忘れがちであった、他者を「尊敬」する「丁寧」な生き方と、そこから生まれる、ぬくもりに満ちた「愛」を実感できる社会とともに形成していきたいと切に祈ります。

編集後記

今号をもって「関学ジャーナル」の編集長を退任することとなりました。5年間、より良い大学広報誌を目指して、読者の皆様や多くの方々に支えられて企画・制作を続けることができました。本当にありがとうございました！これからも関西学院大学と「関学ジャーナル」をどうぞよろしく願っています。(りよ)

※2021年度は、関学ジャーナルの発行を年3回とさせていただきます。
272号は9月ごろ、273号は1月ごろを予定しています。



関西学院大学 Instagram

関西学院大学のキャンパスや授業風景、学生の活動の様子など、さまざまな瞬間を写真や動画で紹介！友達がいるかも。



アカウント名 / kwanseigakuinuniversity



Kwansei Grand Challenge 2039

関西学院は、創立150周年を迎える2039年を見据え、関西学院のありたい姿・あるべき姿を示した「超長期ビジョン」と、それを実現するための前半10年間(2018-2027年)の方向性を示した「長期戦略」からなる将来構想「Kwansei Grand Challenge 2039」を2018年に策定しました。現在は、これに基づく「中期総合経営計画」で、さまざまな施策が進んでいます。

詳細は下記Webサイトをご覧ください。

<https://kgc2039.jp/>

関西学院大学の
受験生向けの情報が
充実しています！



高校生特設サイト

関西学院大学でのマナビと関学生のホンネを紹介しています。

- 学べること紹介
- 同郷の後輩へ
- 教員の研究紹介 など



関西学院大学 公式SNS



LINE



入試情報をお届け。今すぐ友達登録！最新情報や入試情報などさまざまな情報をお届けします。

「友だち追加」から「ID検索」を選択して「@kwansei」で検索



Instagram



学生たちの普段の様子やキャンパス風景を発信します。



Twitter



関西学院大学のニュースを中心に配信しています。



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY